

# 平成30年度中部地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画作成モデル事業（石川県加賀市）

## モデル事業実施の背景・課題

- 石川県における災害廃棄物処理計画の策定は、金沢市、小松市、野々市市にとどまっておらず、市町による計画策定が急務。
- 他方で、規模の小さい市町における計画策定を推進するためには、災害廃棄物発生量推計などの支援が必要。
- 本市においては、モデル事業の成果を活用し、2019年度に災害廃棄物処理計画を策定予定。

## モデル事業の概要

### 1. 意見交換会の実施

- モデル自治体の災害廃棄物担当、他部局（建設部局・防災部局等）、石川県とともに意見交換会を実施。
- モデル自治体が災害廃棄物処理計画を策定する際の課題を抽出・整理し、今後の継続的な取組について協議。

### 2. 災害廃棄物発生量の推計

- 石川県及び計画策定済の市町村（金沢市、小松市、野々市市）の災害廃棄物処理計画における推計方法を整理。
- 本市及び石川県との意見交換会での検討を踏まえ、石川県の推計方法を採用し災害廃棄物発生量の推計を実施。
- また、環境省（環境再生・資源循環局災害廃棄物対策室）「災害廃棄物発生量の推計精度向上のための方策検討」（平成30年3月6日）で記載されている推計式を用いて、水害におけるがれき等の発生量の推計を実施。

### 3. 仮置場及び最終処分場に関する検討

- 仮置場選定基準をもとに、本市有地から現在の利用状況を確認し、仮置場候補地を設定（非公表）。
- 上記候補地について、仮置場のレイアウト図を作成（非公表）。
- 合わせて、運用に関する留意点、広報に関する留意点等を整理。

## 被害想定

### 【地震】

		大聖寺の地震	加賀平野の地震
被害地震の諸元	断層	福井平野東縁断層帯	森本・富樫断層帯
	長さ	40km	40km
	幅	20km	20km
	傾き	鉛直	鉛直
	マグニチュード	7.0	7.0
	震度	5強～6弱	5弱～6強
被害想定	死者数	198人	12人
	負傷者数	1,087人	317人
	要救出者数	467人	157人
	避難者数	7,387人	3,146人
	建物全倒壊数	1,860棟 (県全体：2,340棟)	509棟 (県全体：16,843棟)
	建物全倒壊率	79.5%	3.0%
	炎上出火件数	51件	14件
延焼棟数	56件	0件	

### 【水害】

		大聖寺川水害	新堀川・動橋川水害
被害水害の諸元	計画雨量	流域の2日間総雨量	流域の1日間総雨量
		340mm	194mm
被害想定	浸水面積	570ha	1,240ha
	被災人口	約1,700人	約6,500人
	床上浸水戸数	約500世帯（戸）	約2,000世帯（戸）
	床下浸水戸数	床上・床下の区別なし	床上・床下の区別なし

# 本モデル事業の主な内容（災害廃棄物発生量の推計結果）

## 【地震における災害廃棄物発生量の推計結果】

がれき (単位：t)

構造	区分	木くず	コンクリート	金属くず	残材	合計
木造	全壊	34,548	39,178	2,849	47,369	123,944
	半壊	48,922	55,478	4,035	67,078	175,513
	焼失	1,605	6,087	443	7,359	15,493
RC造	全壊	957	7,551	311	8	8,827
	半壊	2,711	21,418	904	45	25,033
S造	全壊	3,229	23,313	1,418	79	28,039
	半壊	6,238	45,036	2,739	152	54,165
全体計		98,209	198,061	12,698	122,091	431,014

仮置場必要面積 (単位：㎡)

	木くず	コンクリート	金属くず	残材	合計
高さ約3mで設定	81,841	50,785	14,109	67,828	214,563

津波堆積物 (単位：t)

住居地域	非住居地域	合計
2	485	487

仮置場必要面積 (単位：㎡)

	合計
高さ約3mで設定	111

家庭ごみ（生活ごみ） (単位：t)

	発災～0.5ヶ月	0.5～1.5ヶ月	1.5～2.5ヶ月	2.5～3.5ヶ月	合計
期間（日数）	15	30	30	30	105
発生量（t）	98	147	98	49	391

粗大ごみ (単位：t)

	発災～0.5ヶ月	0.5～1.5ヶ月	1.5～2.5ヶ月	2.5～3.5ヶ月	3.5～4.5ヶ月	4.5～5.5ヶ月	5.5～6.5ヶ月	6.5～11.5ヶ月	合計
発生量（t）	278	653	341	130	126	144	100	146	1,918

仮置場必要面積 (単位：㎡)

	発災～0.5ヶ月	0.5～1.5ヶ月	1.5～2.5ヶ月	2.5～3.5ヶ月	3.5～4.5ヶ月	4.5～5.5ヶ月	5.5～6.5ヶ月	6.5～11.5ヶ月	合計
当該期間分	158	372	194	74	72	82	57	83	1,093

し尿（1日当たり） (単位：k /日)

発生場所	発生量
避難所分	13.8
下水道被災分	2.1
し尿収集分	7.0
小計	22.9

収集車必要台数 (単位：台/日)

必要台数
8

パキューム3.0k 車を想定

## 【水害における災害廃棄物発生量の推計結果】

水害がれき（石川県指針） (単位：t)

区分	発生量
床上分	2,762
床下分	102
小計	2,864

仮置場必要面積 (単位：㎡)

	面積
高さ約3mで設定	1,814

水害がれき（環境省指針） (単位：t)

区分	発生量
全壊（木造）	11,598
全壊（非木造）	872
半壊分	2,494
床上分	3,352
床下分	788
合計	19,104

仮置場必要面積 (単位：㎡)

	面積
高さ約3mで設定	12,099.3

片づけごみ（早期） (単位：t)

早期発生量
1,732

仮置場必要面積 (単位：㎡)

	面積
高さ約3mで設定	1,096.9

家庭ごみ（生活ごみ） (単位：t)

	発災～0.5ヶ月	0.5～1.5ヶ月	1.5～2.5ヶ月	2.5～3.5ヶ月	小計
期間（日数）	15	30	30	30	105
発生量（t）	42.3	11.8	7.9	3.9	65.9

し尿（1日当たり） (単位：k /日)

発生場所	発生量
避難所分	7.6
下水道被災分	2.4
し尿収集分	10.1
小計	20.1

収集車必要台数 (単位：台/日)

必要台数
7